八潮中央総合病院 院外広報誌

YBJGA 005-27

ふれあい

2023 5月

発行:医療法人 社団協友会 八潮中央総合病院　編集:広報委員会　〒340-0814 埼玉県八潮市南川崎845番地　TEL.048-996-1131／FAX.048-997-2135

看護の日企画 5月12日は「看護の日」

中学生が看護師にインタビュー

5月12日の「看護の日」にちなんで、潮止中学校の3人の生徒さんが当院においでいただき、看護師の仕事について看護部の恩田佳子副部長にインタビューを行いました。今月はインタビューの内容をお知らせいたします。

【左から】小原 柚子さん、板垣 ハンシさん、遠藤 知花さん、恩田副部長

インタビュアーの生徒さん
八潮市立潮止中学校 3年

遠藤 知花(えんどう・ちはな)さん
板垣 ハンシ(いたがき・はんし)さん
小原 柚子(こはら・ゆず)さん

お答えした看護師

看護部副部長 恩田 佳子(おんだ・よしこ)

Q 看護師の仕事をしていて、一番大変だったことは何ですか?

A 日々大変なことはありますが、例えばその日に予定していた業務ができなかったときは気持ちがあせってしまいます。そんな時に看護師の仲間たちが助け合って業務をこなしているので、一人に負担がかからないようにしています。

Q 看護師の仕事をしていて、どんな時がうれしいですか?

A 患者さまが元気になって笑顔で退院されるときですね。患者さまが目標を達成できるようチームで話し合い協力していくところにやりがいを感じます。

Q 看護師の仕事をしている上で大事にしていることは何ですか、また、患者さんと接する時はどんなことに気をつけていますか?

A 常に患者さまの気持ちになって考え、行動することです。当院の看護部の理念は「思いに寄り添える看護」です。一人ひとりの患者さまに寄り添いながら、その方に合った看護を提供できるよう常に心がけています。

Q 看護師として働くには、どんなことが大切ですか？（精神面、身体面、勉強面）

A 精神面では、皆さんが日ごろ取り組んでいる部活動と共通するところがあります。部活などでくじけそうになったとき、それを乗り越えていける強い気持ちが大切だと思います。身体面では、自分の身体を知っておくことと常にコンディションを整えていくことが大事ですね。勉強の面では、中学校や高校でやっていることはどれも大切なことで、将来必ず役に立つと思います。勉強も部活動も頑張ってください。

Q 病院にはいろいろな職種の方が働いていますが、打ち合わせやコミュニケーションはどんなふうにとっているのですか？

A 病院には、看護師だけではなく医師、薬剤師、検査技師、リハビリ、栄養士、相談員などいろいろな資格を持ったスタッフが働いており、お互いにプロとして敬意を持ちながら、その都度お互いが声を掛け合ってコミュニケーションを図っています。

Q 看護師になりたいと思っています。今からやっておいた方がいいことはありますか？

A まず今の勉強や部活動をしっかりやっておくことです。看護師の現場は患者さまの命を預かる以上シビアなこともたくさんあります。それには勉強による知識はもちろんですが、部活動等で培われた精神面での修練が大切だと思います。

Q 看護師の国家試験はむずかしいですか？

A 大学や専門学校でしっかり勉強していれば受かると思います。

Q 看護師になるためには、高校で看護コースのある学校が適していますか？

A いくつかの方法があります。ご自分の将来を考えて、看護師として早く仕事がしたいと思えば高校から看護師の勉強を始めていくことも選択肢ですが、高校を卒業してからでも遅くはありませんので、将来をじっくり考えて決めていただくのが良いと思います。

Q 看護の大学と専門学校の違いは何ですか？

A 大学は４年間、専門学校は３年間ですが、学ぶ内容・カリキュラムはほぼ変わりません。以前は専門学校が主流でしたが、現在は大学も多くなっています。ご自分の学ぶスタイルで考えていただくのがよいと思います。

Q 看護師になろうと思ったきっかけは何ですか？

A 私自身は、働きながら学校に行って免許が取れる制度を選択し、午前中働いて午後は学校に行っていました。働いて患者さまとふれあっていくうちに、看護師は尊い仕事だと思うようになり、自分が関わった患者さまがよくなって退院していく姿を見て大好きになりました。

Q 夜勤の仕事で眠くなることはありませんか？

A 夜勤を始めたころは一時眠い時がありましたが、順番で仮眠もとれますので慣れてくると夜勤明けで遊びに行ったりすることもよくありました。朝になるともうすぐ終わるということでテンションが上がりますね。

遠藤 知花さん

板垣 ハンシさん

小原 柚子さん

恩田副部長

インタビューを終えて

遠藤 知花（えんどう・ちはな）さん

看護師に関することをいろいろと聞くことができて、たくさんの知識が得られました。大変なこともチームで話し合い協力しながら患者さんのために頑張っていることがわかり感銘しました。私も夢に向かって頑張りたいと思います。

板垣 ハンシ（いたがき・はんし）さん

看護師の仕事を詳しく知ることができました。想像していたよりも仕事の内容が細かくて大変なことが分かりました。医師とは違うところで患者さんを支えているのが分かり、やりがいのある看護師の仕事に魅力を感じました。

小原 柚子（こはら・ゆず）さん

看護師の仕事は予定通りにはいかないことも多くあるということでしたが、それを乗り越える強い気持ちが患者さんを支えていることが分かりました。私も今後の進学先をじっくり考えながら、勉強も部活も頑張りたいと思います。

看護フェア2023を開催します！

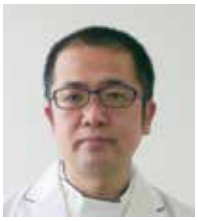
八潮中央総合病院の「看護の日」啓発イベントして、下記のとおり「看護フェア2023」を開催します。

日時 5月13日（土） 午前10:00～正午

会場 フレスポ八潮 イベント広場

内容	血管年齢測定、聴診器体験、血圧測定、AEDの取り扱い・心臓マッサージ体験、ガウン体験、在宅相談、物忘れ相談、栄養相談
主催	八潮中央総合病院
後援	八潮市
協力	埼玉県立八潮南高等学校ボランティア部

4月1日付 新任医師のご紹介



内科
尾辻 尚龍（おつじ なおたつ）医師

専門 呼吸器内科
資格 内科専門医

外科
野崎 崇（のざき しゅう）医師

専門 一般外科、消化器外科

泌尿器科
泉 太郎（いずみ たろう）医師

専門 泌尿器科一般
資格 泌尿器科専門医／手術支援ロボットダヴィンチ資格認定

形成外科
髙田 明日香（たかだ あすか）医師

専門 形成外科一般（皮膚腫瘍、瘢痕（きずあと）、外傷、熱傷）

TOPICS 出前講座

1/13 寿大学校

1月13日（金）午前、老人福祉センター寿楽荘において、寿大学校の授業としての「生活習慣病予防講座」が行われ、当院から講師を派遣しました。

当日前半は、栄養科・管理栄養士の神山が「食生活」についての講義、後半はリハビリテーション科・理学療法士の星野と中村が運動の実技を行いました。

2/21 障がい者講習会

2月21日（火）午後、身体障害者福祉センターにおいて、社会福祉協議会主催の「障がい者講習会」が行われ、当院から講師を派遣しました。

前半の講師はリハビリテーション科・作業療法士の斉藤と理学療法士の岡田が「体力づくりストレッチ」の実技、後半は薬剤部の永川薬剤師が「薬の正しい服用法」についての講義を行いました。

診療統計 2022年度 （）内は月平均 4月～3月

外来患者数	164,345名（13,695名）
入院患者数	3,417名（284名）
退院患者数	3,434名（286名）
一日平均外来患者数	557.1名
救急搬入数	2,401件（200件）
紹介患者数	2,582名（215名）
手術件数　全身麻酔	991件（82件）
硬膜外・脊髄麻酔	70件（5件）

八潮中央総合病院の概要

名　称
医療法人　社団協友会　八潮中央総合病院

所在地
〒340-0814　八潮市南川崎845番地

設立年月日
昭和48年3月24日

建　物
鉄筋コンクリート造5階建・免震構造

認可病床数
250床（一般186床・緩和ケア14床・回復期リハ50床）

診療科目
内科、呼吸器内科、循環器内科、消化器内科、糖尿病内科、神経内科、内視鏡内科、人工透析内科、緩和ケア内科、リウマチ科、外科、呼吸器外科、心臓血管外科、消化器外科、乳腺外科、整形外科、脳神経外科、形成外科、小児科、皮膚科、泌尿器科、婦人科、眼科、耳鼻咽喉科、リハビリテーション科、放射線科、麻酔科（齋藤勇一郎）

診療時間
平　日　9:00～13:00・14:00～17:30
〈受付時間〉　8:00～12:00・12:30～16:30
土曜日　9:00～13:00
〈受付時間〉　8:00～12:00
※日・祝日は休診。但し救急外来は24時間受付しております。

上尾中央医科グループ　医療法人 社団協友会
八潮中央総合病院
〒340-0814 埼玉県八潮市南川崎845番地
TEL 048-996-1131 FAX 048-997-2135
http://www.yashio-cgh.jp　病院ホームページ▶

日本医療機能評価機構認定